

自然と花と人が好き…

デコクレイクラフト：初めて耳にする人もいるかも知れませんか？デコレーション粘土工芸という意味です。

色の付いた粘土を利用し、色の三原色を元に本物より近い色に仕上げる。思いつきやインスピレーション、また遊び感覚でひとつひとつ丁寧に作り上げる。「全然難しいことはないのよ」と桑原さん。

多くの趣味を持ち日々活躍中だが、そのひとつはガーデニング。丹精込めた自慢の庭は沢山のバラが咲き誇る。今は、羽鳥で行われているバラの講座に通い勉強中だとか：「来年の春はもっと沢山のバラが見られそう」と楽しそうに話す。「大好きなバラと

数々の花をコラボレートし、みんなでお茶を飲む…」ガーデニングの夢は広がります。

デコクレイクラフトとの出会いは、ヨーロッパの陶器で出来たバスケット。その美しき、魅力に惹かれ、一、二、三年前から始めた。DEKOクレイクラフト美野里教室は、みのくれ、桑原さんがお住まいの羽鳥にある自宅、羽鳥駅前ふれあいセンターで行われており、七〇代と八〇代の生徒さんも活躍中。「物を作ることは大変なこともあるけれど、作品が完成したときの感動が味わえる」。桑原さんも生徒さんも手作りの「世界に一つだけの花」を咲かせ

みのくれにはとにかく毎週のように通う。教室や数々のボランティアなど、目的はさまざま「主婦と



笑顔が絶えない楽しい雰囲気のある教室

みの〜れ教室：第2.4木曜 13:00-17:00
桑原さん自宅：第2.4月曜 19:30-22:00
ふれあいセンター：第3金曜 10:00-12:00
生徒随時募集※問合せ TEL46-1268

生趣味と 生きると

粘土でお花を作ってみませんか？そう笑顔で語りかけてくれるデコクレイクラフト『アトリエ遊』講師桑原ふきさん。みのんは編集局、みのくれ芸術展実行委員、ときめき美の小径実行委員として活躍。他にも、みのくれ住民劇団Myu'coで逢えたら：「わが家の天ぷら」に舞台小道具として作品を提供。粘土で作った花は生花より本物らしく舞台上に映え、話題となった。

来年五月には、みのくれ「陽だまり横丁」で、デコクレイクラフトの作品展と体験を企画している。桑原さんは、「母の日の特集をしますので沢山の参加をお待ちしております」と話っていた。

いう立場では出会いは限られてしまうけど、みのくれに来ることで色々な出会いがあり、また色々な趣味を持つ人と親しくなれる。みのくれは、人との輪が広がる楽しいところ



「作った花を集めて、リースやポットにアレンジするときはワクワク楽しいひとときです」と語る桑原ふきさん

デコクレイクラフト「アトリエ遊」主宰

桑原ふきさん

みの〜れと共に生活するスタイル

Minole Life

のすすめ

No.07